

季刊えみさぽ

特定非営利活動法人 NPO サポート・しみず会報

2015/8/24

発行:特定非営利活動法人 NPO サポート・しみず

〒424-0943 静岡市清水区港町二丁目 1-1

TEL.054-340-1012

Email:n-support@shimizu-s-center.org

残暑と言うにはあまりの暑さですが、時折吹く風に秋の気配を感じられるようになりました。会員のみなさま、無事猛暑を乗り切ることができましたか？清水市民活動センターいつもより来館者が少なく夏休みモードですが、月2回の休館日以外はスタッフが出勤し、来館者の対応をしています。…清水の隠れ避暑地、市民活動センターをもっとPRしなければ！

センター以外の受託事業、助成事業が始まります

●ふじのくに NPO 活動基金 静岡トヨタ自動車株式会社ハイブリッド基金事業



理事会決定により防災がテーマとなっている静岡トヨタの基金に応募しました。ふじのくに未来財団が設立され、この基金も役目を終えることになるので、助成を受ける最後の機会です。

提案は、子ども達を対象に、災害が起った際に「5分8秒を生き延びる」ための知恵を学ぶ体験型防災教室です。プレゼンには木村理事、会員の古畑さんが臨み、審査の上採択されました。

講師に防犯講座でもお世話になっている清永奈穂さんを招き、10月18日に静岡市立西奈南小学校で実施が決まり、現在準備が進行中です。木村理事の実践経験と、古畑さんの地域での活動実績のおかげで、地域や学校の協力を得られることになりました。自治会関係者、建築士会なども関わる今までにない取組です。興味のある方はぜひ見学において下さい。

●清水区まちづくり協議会 静岡市委託事業

地域の課題を抽出し、解決に向けて住民が主体的に取り組む、という静岡市企画の事業の運営を受託しました。

今回は、清水区堂林地区を対象に、自治会の次世代育成について話し合っていきます。

N サポ会員の守本さんを中心に、担当の地域総務課職員、自治会代表と打合せを行い、すでに第1回目の会議が行われました。

ワークショップに不慣れな参加者に配慮しファシリテーターの守本さんのか、磯谷理事長、センタースタッフもサポートに入り、初回を終えました。

後継者問題は組織や団体の共通の課題であり、解決策は簡単には出てきません。しかし、注意深く探していくと、身近な先進事例も見つかります。N サポは、それらをヒントに、地域の人自らがアイデアを出し、実践につなげていくための舵取り役を務めます。

※ この事業は、2月に予定されている発表会がゴールとなります。

8月16日に堂林自治会館で行われた第1回会議
ワークショップの様子



●静岡県社会资本整備協働推進事業(協働の底力)



浜松市で開催された前回の地域づくり発表会

3回目の受託となりました。東部・中部・西部にまたがっての事業で、9月から2月にかけての長丁場になります。担当者は所管の県建設技術監理センターと連絡を取りながら準備に入っていきます。

秋に入ってからの現地見学ツアー、2月6日に開催決定の地域づくり発表会は、会員のみなさまにも協力をお願いします。(詳細は後日)

●静岡県防犯まちづくり専門講座

プロポーザルにより今年も受託が決定しました。今後県が講師陣と調整をし、担当講師、講座日程が確定します。

11月から1月にかけて3講座を開催することになります。センター指定管理者となって毎年受託していますが、犯罪は年々巧妙化、凶悪化しています。新しい情報を手に入れるためにもぜひ参加してください。



清水市民活動センター事業にご協力を！

センター9周年記念事業

「市民活動FESTA2015」



実行委員長、伊藤高義さん(チームつながり代表)を中心に、企画を検討しています。

恒例のパネル展、コンテストも行われる予定です。

特にメイン事業の日は、たくさんの参加者と、お手伝いいただくボランティアを募集します。会員の皆さん、11月22日は、そろってセンターへおいで下さい！！

ご家庭内に眠っている食品をご提供ください

フードバンクふじのくに 夏のフードドライブ実施中

生活困窮者自立支援法施行以降、フードバンクへの支援要請が増えています。

贈答品や買いすぎてしまった食料がありましたらご協力をお願いします。

清水市民活動センター内、NPOサポート・事務ブースに回収ボックスがあります。

今回は、8月31日が最終日です

生鮮食品、アルコールを除き、賞味期限まで1ヶ月以上の未開封品に限ります